

下松中学校区

下松中学校

飛び出せ!地域へ!! ~くだコン夏祭り!!~

昨年まで、校内で行っていた「くだコン夏祭り」を、地域の「くだまつ土曜夜市」や「とよい夏まつり」の中で行いました。学校独自に出店するとともに、地域の出店を手伝うことで、地域と一緒に祭りを盛り上げました。

竹灯籠の製作は、ドリルの刃を直角に入れるのが大変でしたが、地域の方のご助言で、緻密な作業も楽しめ、上げることができました。司会進行や盆踊りなど緊張しましたが、祭りに華を添えられたと思います。(2年生生徒)

CSコーディネーター
加藤 敦子 さん

竹灯籠の作り方を林業研究会の方々に教えていただき、「竹灯籠でお祭りを盛り上げる企画」や「自分たちが考えたゲーム企画」を実際にお祭りで行う生徒の姿は大変生き生きしていて、頼もしかったです。



下松小学校

保護者・地域の方と楽しんだ委員会活動 ~委員会企画で多様な機会の創出~

委員会が主体となり、保護者や地域の方と学校の課題を解決するために企画を考えました。それぞれの企画はオリジナリティーにあふれ、学校内外での活動や休日に各自で行う活動などを通して、豊かな関わりが生まれました。

これまで地域の方と関わる機会が少なかったのですが、今年度は企画の準備や活動の中で関わりました。話してみるといろいろな話題で盛り上がり楽しかったので、これからもこんな機会があったら嬉しいです。(5年生児童)

下松小保護者
国好 満知子 さん

子ども達と一緒に創り上げる企画に参加することで、子どもの様子を間近に見ることができ、楽しさと達成感を味わうことができました。子ども達も考えが広がったようで、参加した意義を大いに感じました。



豊井小学校

屋間でも星がいっぱい、子どもらの瞳輝くプラネタリウム ~星ふるまの天体観測~

豊井小学校のプラネタリウムは、学校創立140周年を記念して令和4年度にリニューアルしました。4年生理科「月や星」の学習だけでなく、秋の星空観察会では、月や星の世界を家族と一緒に楽しんでいます。

豊井小学校 プラネタリウムマイスター
鴨瀬 亮己 さん

毎月の星空通信発行や年一度の天体観望会を開催しております。これらの活動を通じて子どもたちが天文関係の知識を深めるとともに、地域の環境、そして地球環境を考える一助となれば幸いです。

プラネタリウムを見て、季節によって見える星が変わることを知りました。星座はたくさんあるけれど、消える星や新しい星があることにおどろきました。北極星は見つけやすかったです。(4年生児童)



末武中学校区

末武中学校

地域面接 進路に向けて ~進路選択に向けて、面接の基本を地域の方から学ぼう~

地域の方に面接官として来校していただき、面接が実施される高校を受験する3年生が、地域の方を相手に面接練習を行います。生徒は面接の基本的なマナーを学び、地域の方への感謝や憧れを抱くことができます。

興栄株式会社 代表取締役
中村 浩敏 さん

中学生の進路に対する熱意をひしひしと感じました。練習の時は、想定される回答よりも、アドリブを重視してみました。迷った時に、思っていることを素直に自分の言葉で表現できれば、さらに自信に繋がるのではないのでしょうか。

初対面の地域の方との面接は、実際の面接と似たような雰囲気や、先生との練習よりも緊張感をもって取り組むことができました。地域の方の的確なアドバイスを本番に生かすことができました。(3年生生徒)



花岡小学校

いっしょに話し合おう!よりよい花岡小学校 ~6年生と地域の方、教職員の交流会~

6年生の班に地域の方や教職員が加わり、「もっとよい花岡小学校になるためにわたしたちができること」について話し合いました。学校運営協議会で提案された「児童と地域の交流」の第一歩です。

地域の人やお家の人といっしょに話し合をして、「こうすると花岡小はもっとよくなるよ」という意見がたくさん出てきました。これからもみんなでいっしょに、もっとよい花岡小にしていきたいです。(6年生児童)

花岡小学校学校運営協議会 副会長
吉次 敦生 さん

子どもたちの笑顔と活発な意見交換に私たちも元気をもらい、みんながつながりを深めた交流会でした。次回も地域の参加者が増えて多くの出会いがあり、どんなテーマで盛り上がるのか楽しみです。



中村小学校

学校・家庭・地域の力で、主体的に学びに向かう子どもを育てる ~6年生児童が参加した学力熟議を通して~

10月末の学校運営協議会では、6年生も参加し、「なぜ、学ぶのか」というテーマで熟議を行いました。協議会委員、保護者、地域の方と話し合う中で、学びに対して前向きにとらえられるようになりました。

学校運営協議会委員
堤下 滋乃 さん

6年生は、大人よりもしっかりした考えをもっており、感心しました。将来を見据えて真剣に考える姿から、子どもたちの成長は無限大だと感じました。子どもたちと話し合う機会はなかなかないので、新鮮で楽しかったです。

地域の方と話せたことが楽しかったです。特に、地域の方の「お互いに理解しあい、思いやりをもち、競い合うことなく過ごすため」という考えは自分では思いつかなかったので、学びになりました。(6年生児童)



東陽小学校

東陽まつりの企画・運営 ~地域の様々な方に楽しんでもらえるまつりに~

6年生児童が、地域のまつりで様々な人に楽しんでもらえる店を企画しました。「キューボくんを救え! 射的」と「肩たたき聞き店」を東陽まつりに出店し、地域の方と触れ合うことができました。

東陽コミュニティーセンター 会長
森 良介 さん

企画から協議、本番まで児童たち自身でやり遂げました。話す力、聴く力、行動する力に感銘を受け、地域の方と会話することが心豊かな成長につながる一面を確認し、お祭りのもつ役割も再確認できました。

たくさんの地域の方に来ていただいたので、もっと地域の方との絆を繋いでいきたいと思いました。お客さんの笑顔を見て、これからも地域の方に喜んでもらえることをしていきたいと思いました。(6年生児童)



久保中学校区

久保中学校

こみすクラブで地域行事へGO!! ~地域の心強い担い手に~

久保納涼さんさ踊り大会で、イベント・バザー販売を企画運営しました。ビンゴ大会を行ったり、こみすクラブとして出店したり、地域の方々と積極的に関わる一歩前進した取組になりました。

地域の小さい子から年配の方が楽しんでいる顔を見て、心があたたまりました。今年から、こみすクラブも出店し、企画・準備・販売に関わることができ、よい経験になりました。(3年生生徒)

CS委員
山下 尚穂 さん

地域が最も盛り上がる祭りの中で、生徒主体に企画運営を行いました。普段の学校生活では経験しない悩みや苦労があったと思いますが、その分大きく成長でき、ふるさとの良さも感じる事ができたのではないのでしょうか。



久保小学校

稲作の文化を学ぼう ~もちつきで学ぶ地域の方の知恵~

田植え、かかし作り、稲刈り、脱穀に続く学習です。収穫したもち米を使って、創立140周年の記念行事でもちまきを行いました。この後は稲わらでしめ飾りを作り、先人の知恵を1年間かけて学びました。

うすときねを使つてのもちつきは、初めてでした。春からもち米作りを体験してきたので、食べた時に、よりおいしく感じる事ができました。地域の皆さんの知恵や力強さを感じました。(5年生児童)

久保地区福祉協議会 会長
弘中 靖善 さん

14名が参加し、5年生の餅つきのお手伝いをさせていただきました。皆さんは、最後の片付けまで元気ににぎやかに楽しくおいしく取り組みました。私たちも孫のような皆さんとすぐよい時間を過ごしました。

